

5月末の人口
 世帯数 542世帯
 男 654人
 女 659人
 計 1,313人
 (馬路 1,009人)
 (魚梁瀬 304人)



広報

うまじ

編集 馬路村教育委員会
 発行 馬路村教育委員会
 印刷 安芸タイプ

平成6年6月1日発行
 第一五七号



“おめでとう”

百歳

清岡花代さん(相名)

百歳

M27.5.9生

明治二十七年の馬路村

明治二十二年四月には、馬路村と魚梁瀬村が合併し、馬路村となりました。五年後の明治二十七年には、大きな出来事が二つあります。一つは日清戦争が八月一日に始まったことです。馬路村からも清国へ出征して行きました。そのころ、出征軍人に対し、一戸あて五銭集めて、紙子の袴をつくり、それを着させて、馬に乗せ、馬路の下の峠まで村人が見送り、万歳を三唱したので、そこを万歳峠と呼ぶようになったといえます。

もう一つは、中山村長の清岡正栄が、小川、船倉、瀬切を経て馬路村に至る三千四百三十七間の里道(幅一、八米)の延長が行われ交通が非常に便利になったことです。

この頃から、村内でも新しい息吹が始まって行ったように思います。

勿論、国内では、戦争に勝つため総力をあげたのです。

今月のスポット

《4 月》

- 6日 おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会準備会
- 7日 小・中学校入学式
- 8日 乳児検診(交流センター)
- 11日 県体へでろうね教室(毎月・木)
ペタンク・グランドゴルフ
- 12日 給食サービス(馬路・魚梁瀬)
- 16日 職域ソフトボール大会
アユ放流
- 19日 電動カートの交通安全教室
- 21日 60歳いきいき大学開校式
- 22日 アースデイ(空き缶ひろい)
- 24日 魚梁瀬椎茸栽培研修会
- 27日 初心者のカメラ教室(魚梁瀬)
巡回図書
- 28日 春の運動会(魚小)

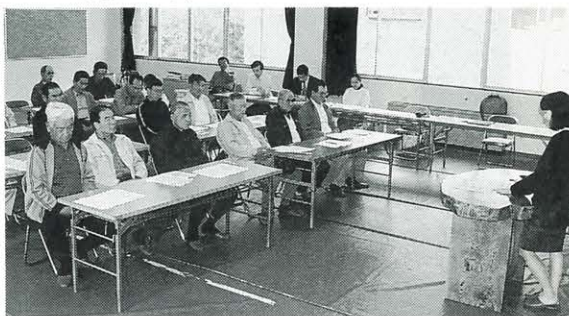
《5 月》

- 1日 こいのぼり運動会(馬保・小)
- 2日 県体へでろうね教室(毎月・木)
ペタンク・グランドゴルフ
- 8日 カモシカウオッチング(魚梁瀬)
- 9日 アメゴ放流(馬路・魚梁瀬)
- 12日 総合検診(馬路)
給食サービス(魚梁瀬)
- 13日 総合検診(魚梁瀬)
- 16日 職域ソフトバレーボール大会
- 17日
- 18日 区長会
安田川を美しくする村民会議
村内教育研究会
- 19日 男の料理教室(魚梁瀬)
- 20日 ミニデイサービス(馬路)
- 22日 第5回短歌会
婦人検診
- 24日 小学校自転車教室
アユ放流(魚梁瀬)
- 25日 巡回図書
給食サービス(馬路)
- 26日 給食サービス(魚梁瀬)
- 31日 献血
馬路小学校校区チリ拾い

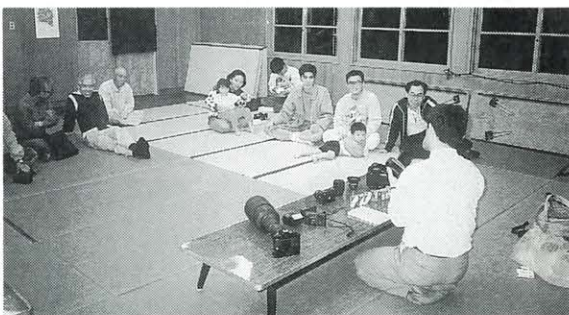
村内あちらこちら



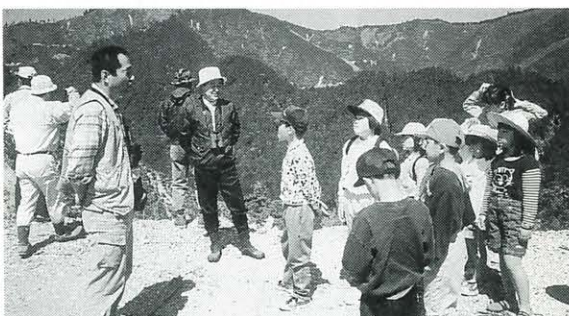
4月16日 アユ放流



4月21日 60歳いきいき大学開校式



4月27日 初心者のカメラ教室



5月8日 カモシカウオッチング



5月19日 男の料理教室

やっぱり歩こう

ウォーキング

糖尿病は食物を通じて体に
取り入れた糖を、体の機能が
うまく利用できなくな
ることによって起る
病気です。馬路村でも
血液や血に含まれる糖
が正常値の範囲より高
くなる糖尿病予備軍の
増加が、健康診断など
で問題となっています。

糖は体を動かすエネ
ルギー源として重要な
働きをしています。逆
に言えば、運動はエネ
ルギー源として糖の利
用を促進しますので糖
尿病の治療に有効です。
現代病とも呼ばれる
糖尿病は、カロリーの
高い食事を続けることや、運
動不足などの積み重ねで起き
る典型的な成人病のひとつで

ウォーキング仲間



糖尿病の治療にも

本は①体に酸素を取り入れら
れる全身運動(100m競
走のような運動はダメ)
②運動強度が軽く③毎
日続けられるもの
が重要だそうです。
ウォーキングは全身
運動に近く、軽度な運
動の割には消費カロリ
ーが大きいので、糖尿
病のような代謝性疾患
には最適でしょう。
一日に一万歩は必要
だそうです。無理な
く始めましょう。
友達を誘いあうこと
も良い方法ですね。

おはよう

青少年健全育成馬路村民会議と教育委員会では、
人と人とのふれあいの基本でもある「あいさつ運動」
を進めていくために、標語を募集してきました。
小学生、中学生や一般から五十三人、あわせて百
六十七名の応募があり、左の標語を優秀作として選
定しました。これらの作品は、標柱などいろいろな
方法で活用させていただきます。
(学年は旧学年表記)



あいさつ標語優秀作

一般

中学生の部

小学生の部

- | | | |
|--|--|---|
| <p>一年生 ○おはようとその一言が気持ちいい</p> <p>二年生 ○あいさつは心をつなぐ虹の橋</p> <p>三年生 ○あいさつではかろう村の活性化</p> <p>○すれちがい疲れもいえるおつかれさん</p> | <p>一年生 ○知らない人にもあいさつをしましょう</p> <p>○あいさつは気持ちのよいところから</p> <p>○あいさつは気持ちをこめていましょう</p> <p>三年生 ○あいさつで一つの輪になる馬路村</p> <p>○おはようで今日も一日がんばろう</p> <p>四年生 ○あいさつで知らない人とおともだち</p> <p>○すれちがい笑顔でかわすこんにちわ</p> <p>○おんちゃん あばちゃん おはようさん</p> <p>○あいさつで心のなごむ馬路村</p> <p>○あいさつでみんなの心ひらこうよ</p> <p>五年生 ○元気よくあいさつしよう馬路の子</p> <p>六年生 ○あいさつはみんなをつなぐ合言葉</p> <p>○うれしいなあいさつした人された人</p> | <p>福岡拓哉</p> <p>太田祐司</p> <p>安養寺史一</p> <p>河平大樹</p> <p>小笠原揚介</p> <p>下田佑美</p> <p>清岡光平</p> <p>福岡龍起</p> <p>甫木あかり</p> <p>山中 綾</p> <p>益田誠司</p> <p>川内康代</p> <p>岡田みちる</p> <p>大崎圭子</p> <p>山崎 泉</p> <p>井上真共</p> <p>島田朝彰</p> |
|--|--|---|

教育の窓

馬路村内 教員の異動

四月一日付けて次のように異動が行なわれました。

転出された先生

()内は、馬路村での在職年数、および転職先。

▽馬路中学校△

横山 拓 (3年・退職)
森沢 綜夫 (1年・古井中)
山崎十四子 (6年・田野中)
▽魚梁瀬中学校△
岡村 正宜 (1年・田野中)

転入された先生

今年、新しく転入された先生、及び村内で異動された先生は次のとおりです。

- ①氏名 ②年齢 ③出身地
④前任校 ⑤出身校
⑥職名・担任・教科
⑦趣味 ⑧抱負

▽馬路中学校△



松田英寿

②56歳 ③安芸市 ④芸西中学校 ⑤高知大学 ⑥校長
⑦釣、囲碁 ⑧豊かな自然に恵まれた馬路村で、勤務できることをうれしく思っています。諸先生方と力を合せて、学校教育目標、それに基づく馬路中の求める生徒像を実現

するため、頑張りたいと思いますので、保護者、地域の皆様方のご理解、ご協力をお願いします。



平山悦子

②54歳 ③安芸市 ④安芸中学校 ⑤高知大学 ⑥英語、音楽 ⑦音楽会めぐり、読書 ⑧自然にも人にも恵まれた地域という第一印象が、月並みなことばながら「がんばらなくては！」という気持ちに力をあたえてくれました。子ども保護者、先輩の先生方といっしょに、一生けん命やりたいと思いますので、よろしくお願いたします。



本田 公

②53歳 ③奈半利町 ④安芸中学校 ⑤立教大学 ⑥数学社会、2年副主任、生徒会 ⑦釣り、野球 ⑧わかる授業でたしかな学力を。生徒会活動をたかめて活力ある馬路中を。あるときはきびしく、あるときは楽しく、生徒のなかにとけこみたいと思っています。



山内将利

②27歳 ③芸西村 ④土佐山田町立鏡野中学校 ⑤亜細亜大学 ⑥2年団 1・2年社会、全学年体育 ⑦特にありませんがこの夏は、鮎つりに挑戦したいと思っています。⑧とにかく一所懸命がんばります。



楠瀬純子

②25歳 ③奈半利町 ④南国市立香長中学校 ⑤高知大学 ⑥1年、国語、全学年家庭科 ⑦読書、映画、ドライブ ⑧素晴らしい環境と生徒に恵まれたと思います。新たな気持ちで、生徒の可能性を伸ばすように、自分自身努力し、がんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



小松礼子

※山中優子先生が特別休暇のため臨時教諭として5月13日から着任しています。
②28歳 ③安芸市 ④安芸市立赤野小学校 ⑤四国女子大学短期大学部 ⑥養護教諭、講師 ⑦スポーツをすること ⑧子ども達が毎日楽しく過ごせるように頑張ります。

▽馬路小学村△



中田江美

※久保まき先生が特別休暇のため臨時教諭として5月12日から着任しています。

②22歳 ③安田町 ④室戸市立室戸岬小学校 ⑤四国学院大学 ⑥2年生、音楽 ⑦スキー、旅行、合唱、ピアノ ⑧一日一日を大切に、子どもと共に精一杯やろうと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



役場新採職員の紹介

平成六年四月一日付けて、役場の新採用職員として、清岡美代さん(馬路保育所) 徳永佳子さん(馬路保育所) 内原美穂さん(馬路小中給食)が採用されました。よろしくお願ひします。



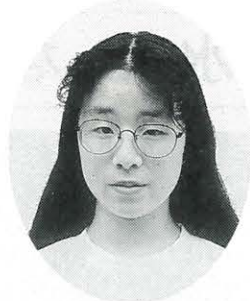
清岡美代

昨年一年間は臨時で、この四月からは新採として馬路の保育所で働いています。馬路にももう慣れたようで、まだ慣れていないことも多く、新人の気分です。いつも初心を忘れないように、子どもたちと一緒に育っていききたいと思っています。



徳永佳子

社会人として、保育者として、すべてが初めての経験なので、不安と期待でいっぱいですが、馬路村という新しい土地で、子どもを第一に自分がやれるだけのことをし、自身を高めるためにもがんばっていききたいと思っています。



内原美穂

初めてのことはわかりなのでいろいろな事を学んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。



馬路俳壇

成すべきは成して老いける弥生かな
喜美栄

尼様に野菜差し上げ春の風

清子

春嵐頭巾かぶって畠を這う

語りつつ桜トンネルくぐり行く

雅子

春愁や背筋延ばせと一人言

ゆるゆると川面に流れ落椿

百合子

裏径は土やわらかし落椿
轉りを遠く近くに部屋に居り

一美

春陰や衣あたらしき石地藏

硝子戸に残る花びら嵐過ぐ

善心

椿咲く御堂の屋根をぬきん出て

裸木を叩きて過ぎる春一番

うた子

木蓮の花ばかりなる寺の庭

蝶々が我にもつれて飛び来たる

千鶴子

沈丁花匂いまといて診療所

盲い人に声かけており花の山

麗山子

耳かきが遍路の妻の土産かな

杖ほしき妻となりたり春炬燵

麗山子

川遊びシーズンを前に 私たちのできることを考えよう

し尿よりも大きい生活雑排水の汚濁負荷

台所、風呂、洗濯等の生活に伴う排水（生活排水）のうちし尿を除いたものを生活雑排水と呼んでいます。家庭において、1人1日当たり排出する汚濁は、43gといわれていますが、その内訳は、し尿が13g（30%）、生活雑排水が30g（70%）となっています。しかも、し尿については法律上未処理のままでの放流が禁止されていますから、水質の汚濁に対する要因としては、し尿よりも生活雑排水の影響がはるかに大きいといえます。例えば、何気なく流しに捨てた大サジ1杯の天ぷら油を魚が住めるような水にまで薄めるためには、実際に風呂おけ10杯分のきれいな水が必要となります。

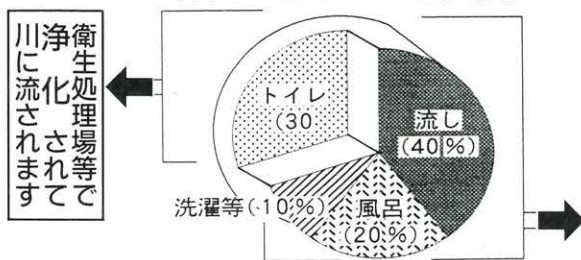
流しの排水はなぜ川を汚すの



自然は
こわされたら
2度ともとにも
どらない

川には、流れ込んだ汚れなどを栄養として繁殖する微生物が住んでいて汚れを食べてくれています。この微生物が活動するためには酸素が必要ですが、流しの排水は、微生物が好む餌（栄養）をたくさん含んでいるので、川に大量に流れ込むと微生物が増え過ぎて、水に溶けてい

私たちの生活から出る汚れの内訳
(下水道が整備されていない地域の場合)








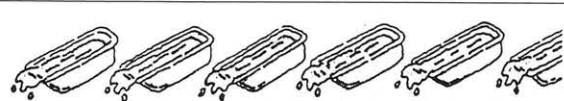
る酸素が足りなくなり、そこに住む魚や昆虫ばかりか、微生物自身さえ生きられなくなってしまう。このように「汚れ」は栄養の多さを意味し、見た目の悪さとは必ずしも一致しません。微生物に栄養を与え過ぎないことが川を保つ秘訣です。

安田川を守ろう

生活雑排水の85%までがタレ流し

生活排水の処理に大きな効果がある下水道の整備についてはいまだに不十分であり、高知県における平成元年度末の普及率は10%(全国42%)にとどまっています。このほか、生活排水の集合処理施設の整備の促進や家庭用の小型合併処理浄化槽の普及も進められていますが、全体からみれば、まだまだごく一部です。つまり、現在、高知県人口のおよそ85%(全国60%)が生活雑排水を川や湖などに未処理のままタレ流していることとなります。水をきれいにするために、汚濁の大きな原因になっている、生活排水に関する積極的な対策が必要です。

■これが汚れの例です

もし、これだけ流したら	魚が住めるまで薄めるのに必要なきれいな水の量は浴槽(300ℓ)何杯分?
 使用済みの天ぷら油 (500ml)	 330杯
 マヨネーズ (大さじ1杯 15ml)	 12杯
 米のとぎ汁 (米3カップ分2,400ml)	 5.6杯

次回は、家庭でできる生活排水対策



コンクリート水路からは
集中して生活排水が集まる

今年は

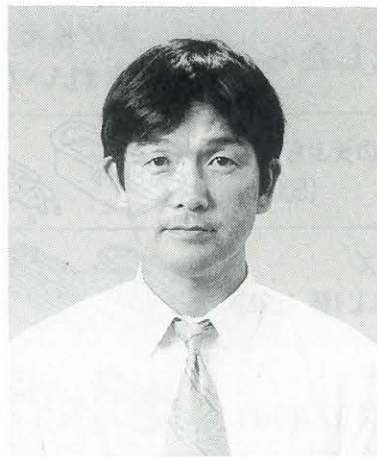
国際家族年



「二枚の紙切れ」

岡村精二

■ 筆者プロフィール ■



岡村精二／おかむらせいじ

上は「シンシア三世号」を操る岡村さん。

1953年生まれ。1974年、国立宇部工業高等専門学校、機械工学科卒業。岡村せいじ建築設計事務所所長。1977年、手作りヨット「シンシア三世号」で単独太平洋横断（宇部～サンフランシスコ10,000km）に成功。

現在、山口県宇部市に在住。心豊かな冒険心あふれる子どもたちを育てるため、野外活動を中心とした至誠学舎「おかむら塾」という学習塾を開講している。

著書に、「シンシアと僕と太平洋」「子どもをダメにしない住まい方」などがある。

自分の子どもが生まれて、子どものことを気遣うとき、私も親になったんだなあと思います。

一六年前、私はヨットで太平洋を横断しましたが、正直に申し上げますと未だに「親不孝なことをしたんだなあ」という思いを持っています。

太平洋を横断すると決めた一五歳からやり遂げた二三歳まで、私は父とほとんど口をきいたことはありません。チョットでも、太平洋やヨ

ットの話をしなすと、父とはいつも大ゲンカになっていました。

「何バカなことをいうか。就職したければすればいい。進学したければ、金くらい出してやるよ」という父の言葉がいまも耳に残っています。

それでも母とはよく話をしていました。いつも笑顔で私の話を聞いていました。

母は一度も「やめろよ」と言ったことはありませんでした。役割分担をしていたのか

父は黙って酒ばかり飲んでいました。母は最後の夜という思いがあるのでしよう。一生懸命話しかけてくるのですが、まるで一方通行でした。

一〇分足らずで食事をすませて、その夜はヨットに泊りました。母は私が出た直後、大泣きだったそうです。夜中の三時を過ぎても寝るに寝れず、ついに起きて私のために弁当を作り始めました。

なあと思いますが、やはり心中穏やかではなかったと思います。

一八歳の頃父とは最悪で顔を見るのもいやで、ほとんど学校の寮生活でした。

卒業後、遠洋漁船に乗ると決めた時点で、父も母も止めることをあきらめ、やれるところまでやらせてみようと思ったようです。

ヨットの進水式には、いくら父を誘っても結局来ませんでした。

出港前日、母は朝から台所で一生懸命料理を作り、夜のテーブルにはすごい御馳走が並んでいました。

私と父が向い合せに、そして左側に母が座りました。私は父の前に居づらいたので、下を向いたまま黙って食事をします。

ついに 出港

出港当日は朝七時半という早い出港でしたが、父は一時間ほど前にやって来ました。

私の父は大工で、普段背広なんか着たこともない父が、一番いい背広を着て、しかもネクタイまで締めてやってきました。

ヨットのそばの岸壁にたつて、黙って私のヨットを見ていました。

七時を廻ると、父の友達もたくさん見送りにやってきましたが、じつと、とうまきに父を見ていました。予定時刻になると、見送りの人も五〇〇人をこえていました。

私はマスコミの取材攻勢にあっていましたが、最後にと思ったので人垣を分けるようにして、父のそばに行きました。握手をして「行ってきます」と言うと、父は黙っていました。母は、私がお世話になった方々に「精二がお世話になってすみませんありがとうございます」と頭を下げてまわっていました。

午後二時に大分県の国東半島の沖に達し、昼食をと、母の作ってくれた大きな弁当箱を開けてみると、昼食と、夕食、夜食が、三段重ねになっ

ていました。

ふろしき包みをひもとき、一段目の弁当を開くと、ご飯の上に

「がんばれ！母」

と書かれた小さなメモ用紙が置いてありました。見た瞬間から、涙が止まりません。ポタポタ落ちてきました。

ひよつとしたらと思ったので、おそるおそる二段目の弁当を開くと、そこにもう一枚の紙切れが入っていました。

「生きて帰れ！父」

三時間くらい、私は大泣きでした。「親父にひとこと言うてくれればよかった」というすごい後悔の気持ちがありました。無線機一つ積んでいない船ですからどうしようもありません。

約八年間私とまったく口をきかなかった父が、出港間際にも一言もしやべらなかつた父が最後に託した言葉が「生きて帰れ」の一言でした。

しばらくは、その二枚の紙切れを船内の壁に張っていましたが、見れば涙が止まらないので、一週間後ついに取り外してしまいました。今も大切に保管してあります。

横断中、八丈島を出港して一〇日目、一度ヨットが転覆しました。幸い、偶然出会っ

岡村さんは自分の体験をもとに、企業や学校などでの講演活動も熱心におこなっている。



た仙台のかつお漁船に助けられました。その中でさびしそうにうずくまっていた夢を見たそうです。そんな夢を見た翌朝、母の手元に私のヨットが転覆したという電報が届きました。

その電報を受け取ったときの母の思いを考えますと、とても耐えられなかつたと思います。以来、母は友だちから「お百度参りをしてみたら」「お宮に参ったら」「がんばりかけてみたら」と言われ、言われるとおりの何でもしたそうです。しなかつたら、精二が死んでしまう」と本気で考えました。

その苦勞がたたつてのことでしょうが、太平洋から帰って、ちょうど一か月後母が倒れました。三か月も病院に入院しましたが、私の太平洋横断が「全く関係ない」なんてとても言えません。

現在、私には、七歳の息子と四歳の娘がいます。この子らの寝顔を見ながら「太平洋を横断したい」とか「世界一周したい」とか言ったら、どうしようかと思えます。そう思うと、よくあの父と母が許してくれたと思えます。あの寛大さを思いますと頭の下がる思いがします。

私は「あなたは誰を尊敬していますか」と聞かれたら、胸をはって「親父とおふくろです」と答えます。

ひよつとしたら、皆さんの中にご両親とうまくいっていないとか、息子とうまくいっていないという方がいらつしやるかもしれません。でも必ず、私と同じような思いになる時がやってきます。

現在、私は両親と一緒に暮らしています。親父を大事にしてやりたいとか、母を大事にしたいというも思っています。

しかし、なかなか思いというのはうまく伝わりません。未だに、よくケンカをしています。

ちよつと、私が素直になれば、と思うのですが……。

今から五年前の、第四十四回国連総会の席上で、今年（一九九四年）を国際家族年とする決議がされました。

近年、いろいろな社会的な問題や個々の問題によって、家族そのものが変化しつつあります。そのため家族の役割も低下して、家族の構成員である幼児、高齢者、障害者などに対して、必要な手助けがなくなっている傾向が強まっています。

たとえば子育ての中で、父親の姿が見えにくいとも言われます。今回は、岡村さんと（社）青少年育成国民会議の協力により、手記を寄せていただきました。

馬路村の歴史と伝説



〈通算第51回〉

馬路村の年中行事 (5)

馬路公民館長 山中 巖

正月二日

炊初め様。炊き初め。買い初め。
嫁の里帰り。体育初め

正月二日の朝、家族は、お膳へ米一升を入れ、神酒、雑魚、干柿、コンブ、里芋、輪注連などと若葉、小松を持って畑へ行き、松と若葉を立てその年の明き方にむけてお供え物をします。お供えをしたあと、畠に穴を掘り、穴の中へ里芋、雑魚、輪注連などを入れます。そして戸主が炊き二炊、三炊土をうち、つづいて家族の者も順番にうって行きます。そして今年の豊作をお祈りします。明き方がわからない場合は、四方を向いてうちます。

残った米は持って帰り、ご飯に炊いて神前にお祭りをして、また家族の者が食べました。これを「炊き初め」という家庭もありました。また「買い初め」といってそれぞれの商店へ行って、今年初めての買い物をしました。昔は景品を出したり、値引きをする商店もありました。さらに、この日には「嫁の里帰り」も行なわれ、夫や子供と共に、酒一升、米一升を持って実家へ帰りました。「体育初め」は、今から約二十年前くらい前に始まったと

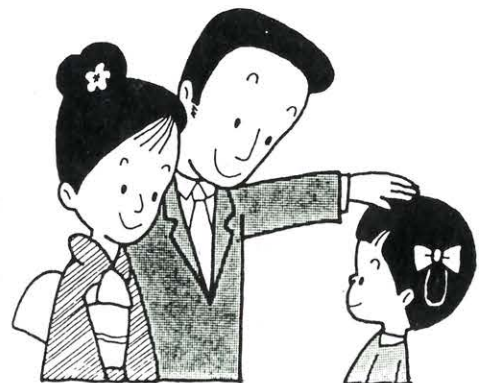
思います。この二十年の間に日時は変わって来ておりますが、現在は、正月二日、午前十時から、小、中学生、一般を含めて約百名くらい参加をして盛大に行われています。

成人式

馬路村では、成人式は毎年一月十五日、成人の日に行われてきましたが、昭和四十八年から一月五日に変更され、その後、正月三ヶ日中に行われるようになり、現在は正月二日になっていきます。過疎の進む中で、数年前は、二十人くらいの成人が出席していましたが、現在は十人くらいに減っています。

成人の日は、昭和二十三年七月二十日の法律第一七八号国民の祝日に関する法律によって「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます日」と定められました。成人の日は、子供から大人へ仲間入りする社会的公認の儀式と考えられます。そして日本の民法では、満二十歳に達した者を成人としています。ただし、結婚した者は未成年者でも成年に達した者とみなされます。

成人の日



天皇、皇太子などの場合は満十八歳をいいます。

ふりかえってみますと、明治九年四月一日の太政官布告で、次のような告示がありました。

「自今満二十年を以て、丁年と相定め候条、この旨布告候事」

この「丁年」とは、大人をさしていると考えられます。

外国ではどうでしょうか。中国では、二十才を弱とい

います弱冠、加冠、成丁ともいい、周の制度では二十歳になると元服の式を行って、冠をつけ大人の仲間入りをしたのです。

古代ローマでは、男子は十四歳で大人であることが認められ、ユダヤでは十三歳で、

宗教上の責任と義務を負わせられました。

わが国においては、男子十五歳、女子十三歳をもって一人前として、労働、婚姻、戦闘などの能力が認められ、大人の仲間入りをしました。

大人になると、能力的には一人役の仕事が強制されます。

一人役とは、男子は四斗俵（十六貫、六十キロ）を背負い、女子は、一日に七畝（二百十坪）の田植えをすることでありました。

男子は十五歳になると、元服をしました。元服とは、はじめて大人の着物を着ることでした。

また推古天皇の頃より、大人は帽子をかぶる風習ができて奈良時代には「加冠の儀」が

馬路村短歌会の発足について

昨年十一月頃であつたでしょうか。国広安子さんから短歌を勉強したいというお話がありました。そのきっかけは、北川村の土居清子さんの短歌を読ませてもらつて、歌心を動かされたようです。私も学生時代、万葉集や古今集などの講議を受けた際、短歌を作つてみたいという衝動に駆られて、自己流の短歌を作つた経験があり、その気持ちは、老境に入った今も続いていました。

特に国広さんの作歌への気持ちは強く、岩城佳子さんとも相談され、広く短歌の会員になられるよう呼びかけられたようです。そして最終的には、公民館活動の短歌教室として発足させたいということでありました。

果、高知新聞俳句選者の楠瀬兵五郎先生が最適任であろうと考えました。先生は、戦後、馬路の真木短歌会が活躍していた頃、共に短歌を勉強した旧知の間柄だったので。そして短歌月刊誌「高知アララギ」「文芸香美」等を発刊編集し、また土佐山田町文化推進協議会会長等として、県文化推進に貢献し、県文化振興功労賞も受章された方です。

ふり仰ぐ四階の窓に小さき頭
三つ並びて別れの手をふる

馬路歌壇

源治郎

峡に住み峡に老いたる兄八十三
ゆずの剪定に今日も出で行く
乳の香に子は包まれてふくふくと
眠るをあかずわれはすわれる
尾根包む黄砂ながめて中国を
語りし夫の過ぎていく年
詣で来る人も少なきわが山寺
春風吹きて孫の足音
病い重き兄を見舞いて心痛し
坂下りくれば鳴く春の蟬
断崖にパワーショベルの行き交いて
指揮をとる子は若き日の夫
土捨て場と変わりし田を見て
立ちつくし涙浮かべて叔母は動かず
己が子の病める事さえ知らされず
こたつに座る老いたる母は
病む吾の回復ぶりにおどろきて
予防医学を説く君の声
大山岬の海は茜に染まりいて
沖遠き山に冬の日は落つ
正座して同居の挨拶する子らに
迎ふる夫とわれはとまどう
滑車行く動きに撓う鉄索の
滑車は行けり冬の青空
吹く風はほほに冷たくはじけ散る
病めるわが身に春は待たるる

雅子 美寿寿 安子 善心 巖 佳子 直子 久子 佐由里 奈留子 潔子 満 智都子

行われるようになりました。加冠は子供から大人になることを意味して、剃髪して烏帽子をかぶり、刀をさずかつて、成人名をもらいました。

女子は十三歳で成女式を行ない、結髪し、笄を髪にさしたので「初笄の祝い」または「髪あげの儀」といいました。また振袖から留袖にかえ、娘組に入って針仕事などを習いました。江戸時代になりますと、歯を黒く染める、眉をそり落すなども行われていました。

馬路村においては、遠い昔のことはわかりませんが、藩政時代には「元服の式」はなかつたようです。しかし、男子は十五歳をすぎると一人前として認められ、女子は十三歳をすぎると嫁入りした話は古老の話としてよく聞かれます。

男子は、神社やお寺へ行つて力石をかついで力だめをし、父や祖父と共に炭を焼いたり、農作業や山仕事をしました。

炭焼きの場合、五キロから八キロ以上もある炭小屋から夕方帰りには、炭一俵かつかいで帰ることはあたりまえのことだったので。



伊吹芳子さん 手島静子さん 五百蔵雄子さん
岡田鈴枝さん 萩野冴子さん 五百蔵尋寿さん 門田長子さん 谷井巳代子さん

目で見ておいしい
食べておいしい
栄養満点の
お弁当を
あなたに…!!

馬路村では、村内のひとり暮らし老人と母子・父子家庭などに手作りのお弁当を毎月届けています。平成六年四月一日現在の対象者は七十名です。

心強い八名の力

お弁当を配って行くと、(もと回数を増やしてほしい) (ひとり暮らしやないけれど、

昼間は家族の者が働きに行きゆう。私もお弁当を買いたい)などの声を聞きます。社会福祉協議会やたんぼぼ会では、平成六年度は活動を月二回に増やそうと話し合っていました。そんな時、魚梁瀬では非私たちもお手伝いをしようとうと、立ち上がって下さった方がいます。

さあ、活動開始だ

五月二十六日。野菜ハンバーグにねぎとキャベツの卵みそ和え、えんどうご飯とデザートにはびわを…。魚梁瀬の皆さん、お味はいかがでしたか?。前の晩から下さらえをし、当日は午前七時に集合してのお弁当作りです。

配るのは、私の主番よ

前年度より、魚梁瀬の分を配食して下さっているのは、五百蔵登喜枝さん。雨の日も風の日も本当にありがとうございます。

お弁当作りのボランティアさん21名

社会福祉協議会の福祉事業の発展には、こうしたボランティア精神にあふれる皆さんの力が大きく寄与しています。たんぼぼ会六名に新会員七名、魚梁瀬のボランティア八名の皆さん。今後共、よろしくお願ひします。

今年よ高知新聞社の主催により、「第三十七回金婚夫婦祝福式典」が県内六会場で開催されます。

役場では、半世紀の風雪を相たずさえて歩いてこられ、今年金婚式を迎える、ご夫婦の参加者を募集しています。

資格

昭和十九年一月一日から、同年十二月三十一日までに婚姻届を出している、高知県在住のご夫婦(それ以前の届出でもはじめて申し込む方は可)実際には当該年に結婚していたが、婚姻届を出していない場合。

第37回 金婚夫婦祝福式典
参加者募集のお知らせ

○資格
昭和十九年一月一日から、同年十二月三十一日までに婚姻届を出している、高知県在住のご夫婦(それ以前の届出でもはじめて申し込む方は可)実際には当該年に結婚していたが、婚姻届を出していない場合。

○行事
金婚式典をあげ、長寿を祈願し、表彰状と寿杯をはじめ、およろこびの品々を贈呈して祝福します。

○会場
安芸市安芸市民会館
対象市町村(安芸市 安芸郡(東洋町を除く)夜須町)

○申し込み切り
平成六年六月三十日(木)です。なお、式典の内容などは次のとおりです。

○式典日時
九月一日(木)
午後二時開始

○申し込み方法
ご夫婦の戸籍抄本(結婚年月日・お二人の生年月日の記入のあるもの)と

○申し込み方法
ご夫婦の戸籍抄本(結婚年月日・お二人の生年月日の記入のあるもの)と

○申し込み方法
ご夫婦の戸籍抄本(結婚年月日・お二人の生年月日の記入のあるもの)と

○申し込み方法
ご夫婦の戸籍抄本(結婚年月日・お二人の生年月日の記入のあるもの)と

○申し込み方法
ご夫婦の戸籍抄本(結婚年月日・お二人の生年月日の記入のあるもの)と

○申し込み方法
ご夫婦の戸籍抄本(結婚年月日・お二人の生年月日の記入のあるもの)と

ご存知ですか、安芸福祉人材バンクを

福祉施設で働く
人材確保のため
バンクに登録する方を
募集しています



安芸福祉人材バンクでは、安芸広域圏（安芸市、室戸市、安芸郡）において下記のような事業を行っています。
関心のある方、興味のある方ぜひご利用下さい。

◆ 事業内容 ◆

◎福祉人材無料職業紹介事業

福祉関係への就職希望者（福祉マンパワー）の登録を行い、人材を求める福祉施設や、市町村社会福祉協議会に紹介します。

◎福祉人材養成事業

ふれあいバスによる施設見学や、施設で働きたい方のための養成講座を開催します。

◎その他

県福祉人材センターと幡多福祉人材バンクとの情報交換を行い、全県的な対応を図ります。

○お問い合わせ先○

安芸市寿町2-8
安芸福祉人材バンク

安芸市社会福祉協議会内
TEL (08873-4-3540)

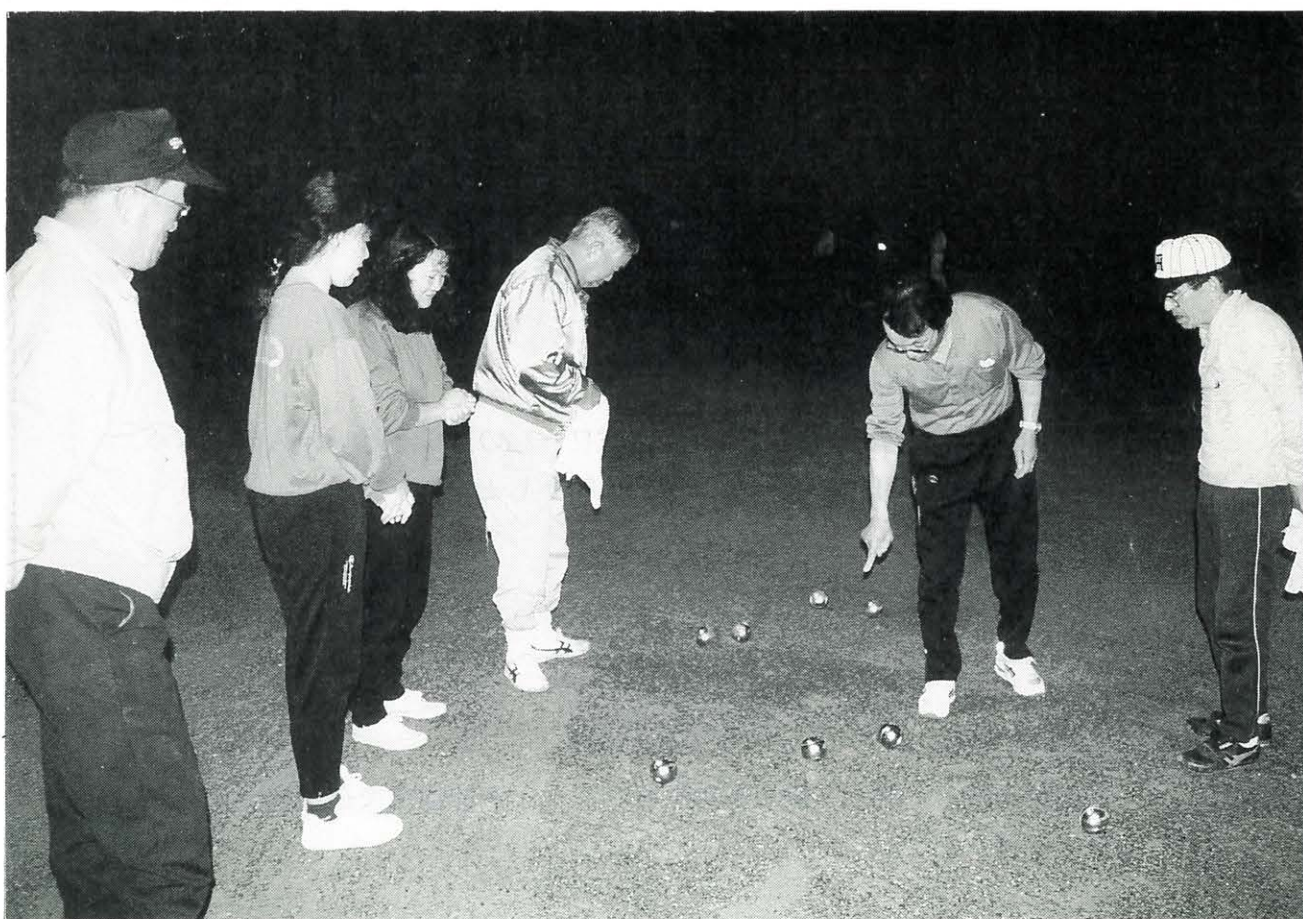
馬路村大字馬路400-2
馬路村社会福祉協議会

馬路村役場内
TEL (08874-4-2111)

県体へ出るうね教室

好評実施中

健康は楽しいスポーツから！



毎週 月曜日・木曜日 午後7:00～

だれでもどこでもできる
ペタンクをやりませんか！

詳しいお問い合わせは

☎4-2216 馬路村教育委員会まで